

(仮称) 観光交流センター整備工事

本館改修工事設計図

平成19年3月

津島市 建設部 建築課

No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE	No.	図面名称	SCALE
	表紙					S-14	本館 小梁・地中梁リスト	1/40
A-01	本館図面リスト		A-34	本館 現況倉庫 展開図	1/50	S-15	本館 床版・壁リスト	
A-02	本館 改修特記仕様書(1)		A-35	本館 改修倉庫 展開図	1/50	S-16	本館 塀・フェンス・らせん階段 配筋図	1/30
A-03	本館 改修特記仕様書(2)		A-36	本館 現況天井伏図	1/100			
A-04	本館 改修特記仕様書(3)		A-37	本館 改修天井伏図	1/100	M-01	本館 特記仕様書	
A-05	本館 改修特記仕様書(4)		A-38	本館 現況撤去建具表	1/100	M-02	本館 空調・換気設備 機器表	1/100
A-06	本館付近見取り図	1/2,500	A-39	本館 改修建具表 その1	1/100	M-03	本館 空調・換気設備 配置図・1階平面図	1/100
A-07	本館 面積表	1/200	A-40	本館 改修建具表 その2	1/100	M-04	本館 空調・換気設備 2階・R階平面図	1/100
A-08	本館 改修仕上表(1)		A-41	本館 改修仕様詳細図 その1	1/20	M-05	本館 給排水衛生設備 配置図・1階平面図	1/100
A-09	本館 改修仕上表(2)		A-42	本館 改修仕様詳細図 その2	1/20	M-06	本館 給排水衛生設備 2階・R階平面図	1/100
A-10	本館 現況配置図	1/100	A-43	本館 改修仕様詳細図 その3	1/20			
A-11	本館 改修配置図	1/100	A-44	本館 改修仕様詳細図 その4	1/20	E-01	本館 電気設備 特記仕様書	
A-12	本館 現況1階平面詳細図	1/50	A-45	本館 改修仕様詳細図 その5	1/20	E-02	本館 電気設備 配置図	1/100
A-13	本館 改修1階平面詳細図	1/50	A-46	本館 らせん階段詳細図	1/20	E-03	本館 電気設備 配置図	
A-14	本館 現況2階平面詳細図	1/50	A-47	本館 畳コーナー詳細図	1/20	E-04	本館 電気設備 コンセント設備 1階平面詳細図	1/50
A-15	本館 改修2階平面詳細図	1/50	A-48	本館 スロープ アルミ庇 詳細図	1/10	E-05	本館 電気設備 コンセント設備 2階平面詳細図	1/50
A-16	本館 現況屋上階平面詳細図	1/50	A-49	本館 巻葦提灯固定台検討図	1/50	E-06	本館 電気設備 照明器具姿図	
A-17	本館 改修屋上階平面詳細図	1/50	A-50	本館 現況外構図	1/100	E-07	本館 電気設備 電灯設備 1階平面詳細図	1/50
A-18	本館 現況東立面図	1/50	A-51	本館 改修外構図	1/100	E-08	本館 電気設備 電灯設備 2階平面詳細図	1/50
A-19	本館 改修東立面図	1/50				E-09	本館 電気設備 弱電設備 1階平面図	1/50
A-20	本館 現況南立面図	1/50				E-10	本館 映像・音響設備	
A-21	本館 改修南立面図	1/50	S-01	本館 構造特記仕様書		E-11	本館 電気設備 非常警報設備 1階平面図	1/50
A-22	本館 現況西立面図	1/50	S-02	本館 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)				
A-23	本館 改修西立面図	1/50	S-03	本館 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)				
A-24	本館 現況北立面図	1/50	S-04	本館 鉄骨工作標準図(1)				
A-25	本館 改修北立面図	1/50	S-05	本館 鉄骨工作標準図(2)				
A-26	本館 現況展示ホール 断面展開図 その1	1/50	S-06	本館 伏図 その1	1/100			
A-27	本館 改修展示ホール 断面展開図 その1	1/50	S-07	本館 伏図 その2	1/100			
A-28	本館 現況展示ホール 断面展開図 その2	1/50	S-08	本館 軸組図 その1	1/100			
A-29	本館 改修展示ホール 断面展開図 その2	1/50	S-09	本館 軸組図 その2	1/100			
A-30	本館 現況展示ホール 断面展開図 その3	1/50	S-10	本館 軸組図 その3	1/100			
A-31	本館 改修展示ホール 断面展開図 その3	1/50	S-11	本館 軸組図 その4	1/100			
A-32	本館 現況展示ホール 断面展開図 その4	1/50	S-12	本館 柱断面リスト	1/40			
A-33	本館 改修展示ホール 断面展開図 その4	1/50	S-13	本館 大梁リスト	1/40			

検図	製図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事				
		設計19年 3月	本館 図面リスト				
		縮尺 -					
			津 島 市 建 設 部 建 築 課				
全日本コンサルタント(株)	A-01	撰 長	G L	主 担	副 担	G 員	

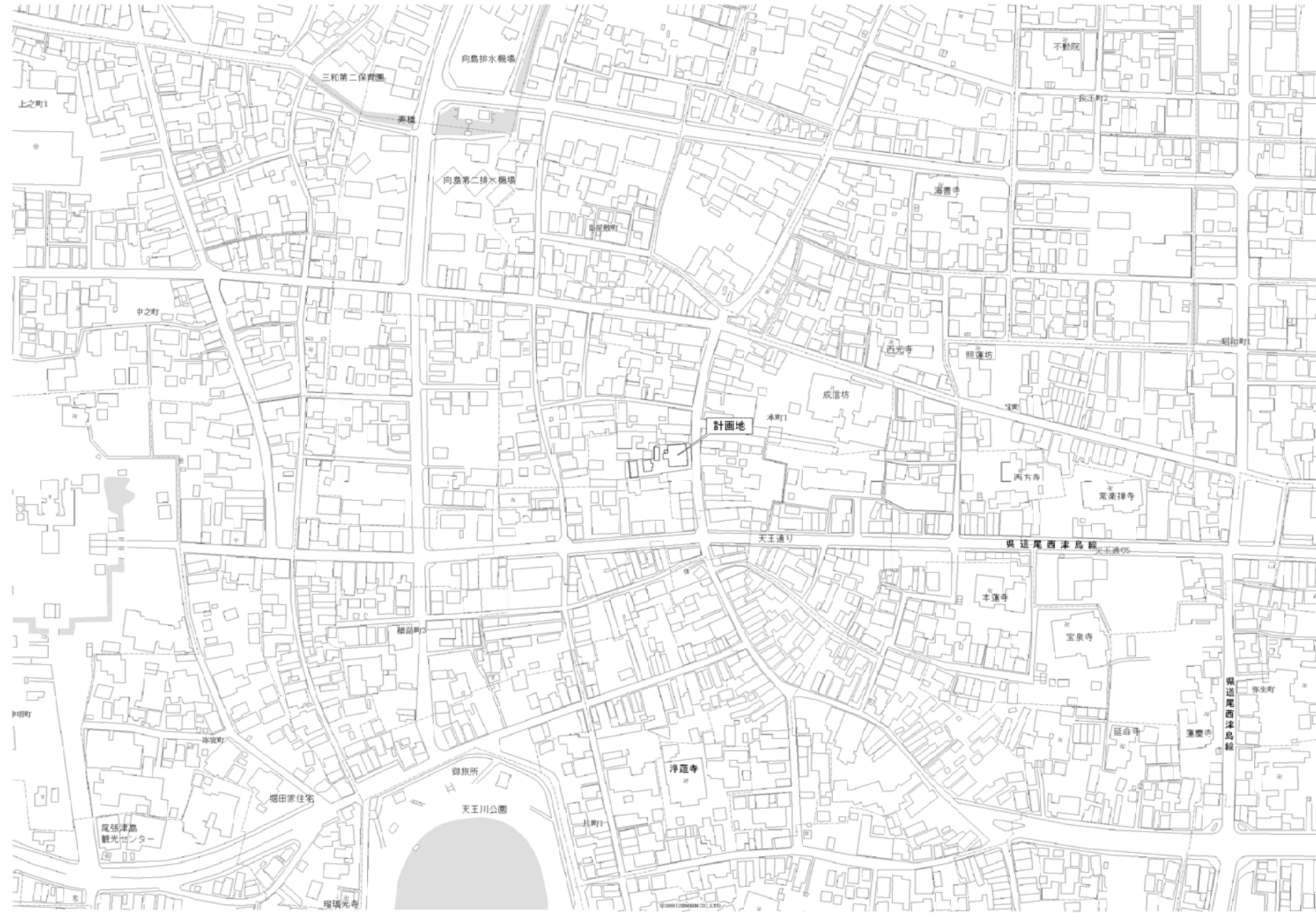
外壁改修工事 共通事項	② 改修材料	<p>・既製適合モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/L)</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強度 (N/mm²)</th></tr></thead><tbody><tr><td>70.0以上</td><td>1.80以上</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以下</td><td>4.0以上</td></tr></tbody></table> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>初期硬化性 (標準)</th><th>接着強度 (標準)</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th><th>硬化収縮率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2.0N/mm²以上</td><td>6.0N/mm²以上</td><td>50.0N/mm²以上</td><td>30.0N/mm²以上</td><td>3.0 (%)以下</td></tr></tbody></table> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr></thead><tbody><tr><td>引張強度</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び</td><td>10%以上</td></tr></tbody></table> <p>比湿 表示値±0.10 押し出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下</p> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・タイル部分張替え工法用材料</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷水水中浸返し</th><th>熱変化</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度 (N/mm²)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>耐凍結率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>皮膜物性</th><th>標準</th><th>高温</th><th>低温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱変化</th></tr></thead><tbody><tr><td>引張強度 (N/mm²)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td>伸び (%)</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></tbody></table> <p>貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。</p> <p>a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等を侵すものではないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明確であること。</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.0N/mm²以上</td><td>20.0N/mm²以上</td><td>10.0N/mm²以上</td></tr></tbody></table> <p>a. ことでりやすいで、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>曲げ強度 (N/mm²)</th><th>圧縮強度 (N/mm²)</th><th>標準時</th><th>湿潤時</th><th>低温時</th></tr></thead><tbody><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></tbody></table> <p>表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>○ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (変化曲げ強度)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3%以下</td><td>0.5N/mm²以上</td><td>5.0N/mm²以上</td><td>15%以下</td><td>5.0N/mm²以上</td></tr></tbody></table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>・吸水調整材</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>全面形分 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr></tbody></table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm ²)	70.0以上	1.80以上	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上	初期硬化性 (標準)	接着強度 (標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率	2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ² 以上	3.0 (%)以下	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強度	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上	接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷水水中浸返し	熱変化	強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	耐凍結率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱変化	引張強度 (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	接着強度	圧縮強度	曲げ強度	1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上	曲げ強度 (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)	標準時	湿潤時	低温時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (変化曲げ強度)	3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上	項目	全面形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下
	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm ²)																																																																																																												
70.0以上	1.80以上	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上																																																																																																												
初期硬化性 (標準)	接着強度 (標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率																																																																																																													
2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ² 以上	3.0 (%)以下																																																																																																													
性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																													
引張強度	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上																																																																																																													
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上																																																																																																												
接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷水水中浸返し	熱変化																																																																																																												
強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																												
耐凍結率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																												
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱変化																																																																																																												
引張強度 (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																												
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																												
接着強度	圧縮強度	曲げ強度																																																																																																															
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上																																																																																																															
曲げ強度 (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)	標準時	湿潤時	低温時																																																																																																													
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																													
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (変化曲げ強度)																																																																																																												
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上																																																																																																												
項目	全面形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)																																																																																																													
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																													
4-1	1 ひび割れ部改修工法	<p>・樹脂注入工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~1.0未満</td><td>※200~300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満</td><td>※50~100</td><td>※40</td><td>-</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0未満</td><td>※150~250</td><td>※130</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査 (コア抜取り) ※行わない (採取り部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充てん工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>※行わない ・行う</td></tr></tbody></table> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-	充てん材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う																																																																																					
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考																																																																																																													
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-																																																																																																													
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-																																																																																																													
充てん材料	品質・規格等	備考																																																																																																															
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	※行わない ・行う																																																																																																															

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	2 欠損部改修工法	<p>※充てん工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p>																																																																														
	① 既存モルタル塗りの撤去	<p>○行う (※全面 ○明示の範囲)</p>																																																																														
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	② ひび割れ部改修工法	<p>・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)</p> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~1.0未満</td><td>※200~300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満</td><td>※50~100</td><td>※40</td><td>-</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0未満</td><td>※150~250</td><td>※130</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査 (コア抜取り) ※行わない (採取り部の補修方法:)</p> <p>○リカットシール材充てん工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>※行わない ○行う</td></tr></tbody></table> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <p>(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲)</p> <p>既存モルタル面の欠損部</p> <table border="1"><thead><tr><th>改修工法の種類</th><th>材 料</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>・充てん工法</td><td>ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>○モルタル塗替え工法</p> <p>改修幅は4.2.2 (g) による</p> <p>塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示</p> <p>既製目地材 ・適用する (形状 ※図示)</p> <p>③ 浮き部改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>改修工法の種類</th><th>アンカーピンの本数 (本/m²)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/m²)</th><th>充てん量 (注入量)</th></tr></thead><tbody><tr><td>(モルタルを撤去しない場合)</td><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td><td>指定部</td><td>注入量</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>・25ml ※50ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50ml</td></tr></tbody></table> <p>アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもので</p> <p>注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm</p> <p>※外壁仕上げおよび内壁・天井仕上げの施工については、文化財改修の実務実績等に基づき専門事業者を選定することとし、監督職員の承諾を得ること。</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-	充てん材料	品質・規格等	備考	・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	※行わない ○行う	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	・充てん工法	ポリマーセメントモルタル		改修工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充てん量 (注入量)	(モルタルを撤去しない場合)	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	・25ml ※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考																																																																											
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※																																																																													
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	-																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	-																																																																												
充てん材料	品質・規格等	備考																																																																														
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	※行わない ○行う																																																																														
改修工法の種類	材 料	品質・規格等																																																																														
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル																																																																															
改修工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充てん量 (注入量)																																																																													
(モルタルを撤去しない場合)	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量																																																																											
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml																																																																											
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																																											
○アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	・25ml ※50ml																																																																											
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml																																																																											
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																											
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																																											

外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	3 欠損部改修工法	<p>・タイル部分張替え工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・タイル部分張替え工法用接着剤</p> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であり監督職員の承諾するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>伸縮調整目地及び、ひび割れ懸免目地</p> <p>位置 ※改修仕様表4.5.11による ・図示</p> <p>4 浮き部改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th><th>アンカーピンの本数 (本/m²)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/m²)</th><th>充てん量 (注入量)</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>・25ml ※50ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50ml</td></tr></tbody></table> <p>アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもので</p> <p>注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>形状寸法 (mm)</th><th>きり</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>再生材の適用</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>※</td><td>※</td><td>※</td><td>※</td><td>※</td><td></td></tr></tbody></table> <p>役物: 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする。</p> <p>タイルの見焼き ※行わない ・行う</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>外装タイル ・密着張り ・マスク張り</p> <p>タイルの試験張り ※行わない ・行う</p> <p>6 目地改修工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法</p> <p>・伸縮目地改修工法</p> <p>シーリング用材料</p> <p>種類 ※改修仕様表3.7.11による</p>	接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル		改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充てん量 (注入量)	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	・25ml ※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml	施工箇所	形状寸法 (mm)	きり	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考			※	※	※	※	※	
	接着剤の種類	品質・規格等																																																										
※ポリマーセメントモルタル																																																												
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)	注入口の箇所数 (箇所/m ²)	充てん量 (注入量)																																																									
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※25ml																																																									
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																							
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	・25ml ※50ml																																																							
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																							
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																							
施工箇所	形状寸法 (mm)	きり	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	備考																																																					
		※	※	※	※	※																																																						
① 既存塗膜等の除去及び下地処理	<p>既存塗膜変化部の除去、下地処理の工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>工 法</th><th>処理範囲</th><th>下地面の補修</th></tr></thead><tbody><tr><td>※サンダー工法</td><td>※既存仕上面全体</td><td>・ひび割れ部改修工法</td></tr><tr><td>・高圧水洗工法</td><td>※既存仕上面全体</td><td>・浮き部改修工法</td></tr><tr><td>・加圧力 ※50MPa程度</td><td></td><td>・欠損部改修工法</td></tr><tr><td>・塗膜はく離剤工法</td><td>※既存仕上面全体</td><td></td></tr><tr><td>・水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体</td><td></td></tr></tbody></table> <p>塗膜はく離剤</p> <p>※下地調整塗材</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・防水形仕上げ塗材主材を使用</p>	工 法	処理範囲	下地面の補修	※サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・浮き部改修工法	・加圧力 ※50MPa程度		・欠損部改修工法	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体		・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体																																										
工 法	処理範囲	下地面の補修																																																										
※サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法																																																										
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体	・浮き部改修工法																																																										
・加圧力 ※50MPa程度		・欠損部改修工法																																																										
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体																																																											
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体																																																											
② 下地調整材	<p>種類、仕上げの形状、工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th></tr></thead><tbody><tr><td>・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材S1</td><td>・可とう形外装薄塗材S1</td></tr><tr><td></td><td>・外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・砂壁状</td></tr><tr><td></td><td>・防水形外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・砂壁状</td></tr><tr><td></td><td>・外装薄塗材S</td><td>・砂壁状</td></tr><tr><td>・複層仕上塗材</td><td>・複層塗材CE</td><td>・ゆず肌状 ・凸凹処理</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形複層塗材CE</td><td>・耐候性 ※耐候剤3種</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材SI</td><td>上塗材</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材E</td><td>溶媒 ※水系 ・溶剤系</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材RE</td><td>樹脂 ※アクリル系</td></tr><tr><td></td><td>・複層塗材RS</td><td>外観 ※つやあり ・つやなし</td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材CE</td><td>・メタリック</td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材E</td><td>防水形の増塗材 ※行う</td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材RE</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・防水形複層塗材RS</td><td></td></tr><tr><td>・可とう形改修用仕上塗材</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・平たん状</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形改修塗材RE</td><td>・さざ波状</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形改修塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td></tr></tbody></table> <p>防火材料の指定が必要な場合 ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。</p> <p>※外壁仕上げおよび内壁・天井仕上げの施工については、文化財改修の実務実績等に基づき専門事業者を選定することとし、監督職員の承諾を得ること。</p>	種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S1	・可とう形外装薄塗材S1		・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・砂壁状		・防水形外装薄塗材E	・砂壁状 ・砂壁状		・外装薄塗材S	・砂壁状	・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸凹処理		・可とう形複層塗材CE	・耐候性 ※耐候剤3種		・複層塗材SI	上塗材		・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系		・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系		・複層塗材RS	外観 ※つやあり ・つやなし		・防水形複層塗材CE	・メタリック		・防水形複層塗材E	防水形の増塗材 ※行う		・防水形複層塗材RE			・防水形複層塗材RS		・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・平たん状		・可とう形改修塗材RE	・さざ波状		・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状		
種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状																																																										
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S1	・可とう形外装薄塗材S1																																																										
	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状																																																										
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・砂壁状																																																										
	・防水形外装薄塗材E	・砂壁状 ・砂壁状																																																										
	・外装薄塗材S	・砂壁状																																																										
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸凹処理																																																										
	・可とう形複層塗材CE	・耐候性 ※耐候剤3種																																																										
	・複層塗材SI	上塗材																																																										
	・複層塗材E	溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																										
	・複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系																																																										
	・複層塗材RS	外観 ※つやあり ・つやなし																																																										
	・防水形複層塗材CE	・メタリック																																																										
	・防水形複層塗材E	防水形の増塗材 ※行う																																																										
	・防水形複層塗材RE																																																											
	・防水形複層塗材RS																																																											
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・平たん状																																																										
	・可とう形改修塗材RE	・さざ波状																																																										
	・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状																																																										

外壁改修工事 コンクリート打ち仕上げ外壁	② 改修工法の適用	<p>① 2 見本の製作等</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>○既製建具</td><td>○内部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○外部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・特殊な建具の仮組 (建具符号:)</p> <p>③ 網戸</p> <p>④ 網製建具</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具</p> <p>⑥ ステンレス製建具</p> <p>⑦ 自動ドア開閉装置</p> <p>⑧ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>⑨ 木製建具</p> <p>⑩ 建具用金物</p> <p>⑪ ガラス</p> <p>⑫ ガラス留め材及び溝</p> <p>⑬ ガラス用フィルム</p> <p>⑭ 重量シャッター</p> <p>⑮ 軽量シャッター</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考	・アルミニウム製建具	-	-		○既製建具	○内部	○			○外部	○		・鋼製軽量建具	○	-		・ステンレス製建具	-	-																										
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考																																															
・アルミニウム製建具	-	-																																																	
○既製建具	○内部	○																																																	
	○外部	○																																																	
・鋼製軽量建具	○	-																																																	
・ステンレス製建具	-	-																																																	
4-1	1 ひび割れ部改修工法	<p>① 網製建具</p> <p>網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)</p> <p>形 式 ※外部可動式 ・固定式</p> <p>② 網製建具</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は建具表による</p> <p>耐風圧性能の適用は建具表による</p> <p>特定防火設備の戸 ・適用する</p> <p>③ 鋼製軽量建具</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は建具表による</p> <p>耐風圧性能の適用は建具表による</p> <p>④ ステンレス製建具</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用は特記による</p> <p>耐風圧性能の適用は建具表による</p> <p>表面仕上げ ※札仕上げ ・鏡面仕上げ</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強有り)</p> <p>特定防火設備の戸 ・適用する</p> <p>⑤ 自動ドア開閉装置</p> <p>※製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <table border="1"><thead><tr><th>開閉方法</th><th>センサの種類</th></tr></thead><tbody><tr><td>※スライディングドア</td><td>・マットスイッチ</td><td>・電子マットスイッチ</td></tr><tr><td>・スイングドア</td><td>※光軸スイッチ</td><td>・音波スイッチ</td></tr><tr><td></td><td>・熱線スイッチ</td><td>・光電スイッチ</td></tr></tbody></table> <p>・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による)</p> <p>⑥ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>品質規格 ※改修仕様表5.8.3による</p> <p>・製造所標準仕様による</p> <p>⑦ 木製建具</p> <p>かまち戸の仕様 かまち () 鏡板 ()</p> <p>ふすまの上張り ※新島の子又はビニル紙程度 (押入等の裏面は除く)</p> <p>・鳥の子</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p> <p>⑧ 建具用金物</p> <p>マスターキー ※製作する ・製作しない</p> <p>建具用金物</p> <p>錠類はシリンダー錠錠 (レバーハンドル) とする</p> <p>なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける</p> <p>吊金物</p> <p>・丁番 (内部建具については、軸を芯軸としてもよい)</p> <p>・ピボットヒンジ</p> <p>⑨ ガラス</p> <p>※建具表による</p> <p>・ガラスブロック</p> <table border="1"><thead><tr><th>寸法 (mm)</th><th>色 類</th><th>パターン</th><th>防火認定</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>※クリア</td><td>・熱線反射</td><td>※無し</td></tr><tr><td></td><td>・乳白</td><td>・カラー ()</td><td>・有り</td></tr></tbody></table> <p>⑩ ガラス留め材</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr></thead><tbody><tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 ・ガスケット (FIX部はシーリング材)</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材</td></tr></tbody></table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。</p> <p>板ガラスをはめ込む溝の大きさ</p> <p>改修仕様表5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS17 ガラス工事 「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。</p> <p>⑪ ガラス用フィルム</p> <table border="1"><thead><tr><th>名 称</th><th>種 類</th><th>張り面</th><th>性能値</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ガラス飛散防止フィルム</td><td>第2種</td><td>※内張り ・外張り</td><td>飛散防止率 D1</td></tr></tbody></table> <p>品質 JIS A 5759による</p> <p>⑫ 重量シャッター</p> <table border="1"><thead><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧性能 () N/m²</th></tr></thead><tbody><tr><td>・一般重量シャッター</td><td>耐風圧性能 () N/m²</td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧性能 () N/m²</td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・屋内用防煙シャッター</td><td></td></tr></tbody></table> <p>開閉機能</p> <p>※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式</p> <p>危険防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型)</p> <p>⑬ ガラス留め材及び溝</p> <p>一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない</p> <p>⑭ 軽量シャッター</p> <p>開閉形式</p> <p>※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>形状 ※インターロックング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>ガイドレール等</p> <p>※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm)</p> <p>耐風圧性能 () N/m²</p>	開閉方法	センサの種類	※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ	・スイングドア	※光軸スイッチ	・音波スイッチ		・熱線スイッチ	・光電スイッチ	寸法 (mm)	色 類	パターン	防火認定		※クリア	・熱線反射	※無し		・乳白	・カラー ()	・有り	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット (FIX部はシーリング材)	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名 称	種 類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1	シャッターの種類	耐風圧性能 () N/m ²	・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m ²	・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m ²	・屋内用防火シャッター		・屋内用防煙シャッター	
開閉方法	センサの種類																																																		
※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ																																																	
・スイングドア	※光軸スイッチ	・音波スイッチ																																																	
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ																																																	
寸法 (mm)	色 類	パターン	防火認定																																																
	※クリア	・熱線反射	※無し																																																
	・乳白	・カラー ()	・有り																																																
建具の種類	材 種																																																		
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット (FIX部はシーリング材)																																																		
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材																																																		
ステンレス製	※シーリング材																																																		
名 称	種 類	張り面	性能値																																																
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1																																																
シャッターの種類	耐風圧性能 () N/m ²																																																		
・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m ²																																																		
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m ²																																																		
・屋内用防火シャッター																																																			
・屋内用防煙シャッター																																																			

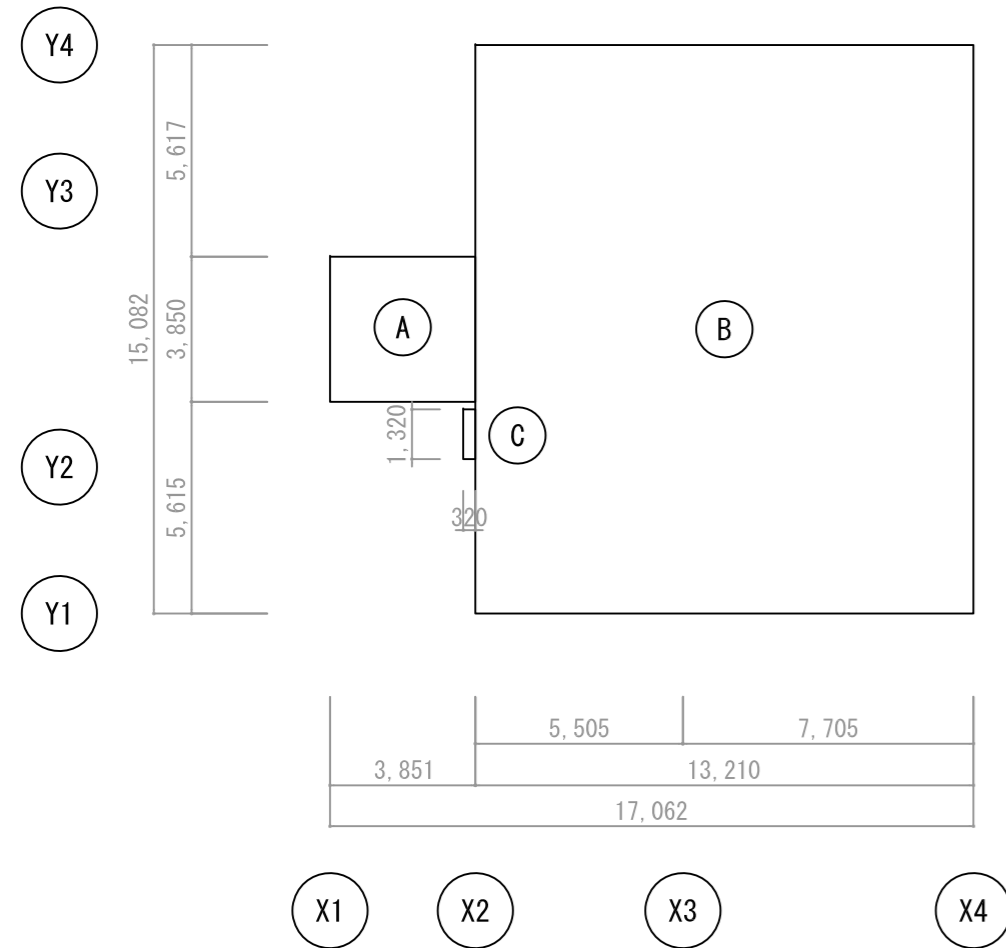
外壁改修工事 共通事項	② 改修材料	<p>・既製適合モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>保水率 (%)</th><th>単位容積質量 (kg/L)</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>長さ変化率 (%)</th><th>曲げ強度 (N/mm²)</th></tr></thead><tbody><tr><td>70.0以上</td><td>1.80以上</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.20以下</td><td>4.0以上</td></tr></tbody></table> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>初期硬化性 (標準)</th><th>接着強度 (標準)</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th><th>硬化収縮率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2.0N/mm²以上</td><td>6.0N/mm²以上</td><td>50.0N/mm²以上</td><td>30.0N/mm²以上</td><td>3.0 (%)以下</td></tr></tbody></table> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"><thead><tr><th>性能</th><th>常温物性</th><th>低温性</th><th>加熱変化</th><th>引張接着性</th></tr></thead><tbody><tr><td>引張強度</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td><td>1.0N/mm²以上</td></tr><tr><td>伸び</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>30.0%以上</td><td>破断時の伸び</td><td>10%以上</td></tr></tbody></table> <p>比湿 表示値±0.10 押し出し性 60秒以下 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下</p> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・タイル部分張替え工法用材料</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>標準</th><th>低温硬化</th><th>アルカリ温水</th><th>冷水水中浸返し</th><th>熱変化</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度 (N/mm²)</td><td>0.60以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td><td>0.40以上</td></tr><tr><td>耐凍結率 (%)</td><td>75以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td><td>50以上</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>皮膜物性</th><th>標準</th><th>高温</th><th>低温</th><th>アルカリ温水</th><th>熱変化</th></tr></thead><tbody><tr><td>引張強度 (N/mm²)</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td><td>1.00以上</td></tr><tr><td>伸び (%)</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>30以上</td><td>20以上</td><td>20以上</td></tr></tbody></table> <p>貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。 耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。</p> <p>a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等を侵すものではないこと。 c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明確であること。</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>接着強度</th><th>圧縮強度</th><th>曲げ強度</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.0N/mm²以上</td><td>20.0N/mm²以上</td><td>10.0N/mm²以上</td></tr></tbody></table> <p>a. ことでりやすいで、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温・常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <table border="1"><thead><tr><th>曲げ強度 (N/mm²)</th><th>圧縮強度 (N/mm²)</th><th>標準時</th><th>湿潤時</th><th>低温時</th></tr></thead><tbody><tr><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></tbody></table> <p>表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>○ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (変化曲げ強度)</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3%以下</td><td>0.5N/mm²以上</td><td>5.0N/mm²以上</td><td>15%以下</td><td>5.0N/mm²以上</td></tr></tbody></table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>・吸水調整材</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>全面形分 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以下</td></tr></tbody></table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm ²)	70.0以上	1.80以上	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上	初期硬化性 (標準)	接着強度 (標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率	2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ² 以上	3.0 (%)以下	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強度	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上	接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷水水中浸返し	熱変化	強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	耐凍結率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱変化	引張強度 (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上	接着強度	圧縮強度	曲げ強度	1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上	曲げ強度 (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)	標準時	湿潤時	低温時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (変化曲げ強度)	3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上	項目	全面形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下
	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強度 (N/mm ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/mm ²)																																																																																																												
70.0以上	1.80以上	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上																																																																																																												
初期硬化性 (標準)	接着強度 (標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率																																																																																																													
2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ² 以上	3.0 (%)以下																																																																																																													
性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性																																																																																																													
引張強度	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上																																																																																																													
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上																																																																																																												
接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷水水中浸返し	熱変化																																																																																																												
強度 (N/mm ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																																																												
耐凍結率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																																																												
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱変化																																																																																																												
引張強度 (N/mm ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																																																												
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上																																																																																																												
接着強度	圧縮強度	曲げ強度																																																																																																															
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上																																																																																																															
曲げ強度 (N/mm ²)	圧縮強度 (N/mm ²)	標準時	湿潤時	低温時																																																																																																													
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																													
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (変化曲げ強度)																																																																																																												
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上																																																																																																												
項目	全面形分 (%)	吸水性 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)																																																																																																													
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下																																																																																																													
外壁改修工事 共通事項	② 改修工法の適用	<p>① 2 見本の製作等</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>○既製建具</td><td>○内部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○外部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・特殊な建具の仮組 (建具符号:)</p> <p>③ 網戸</p> <p>④ 網製建具</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具</p> <p>⑥ ステンレス製建具</p> <p>⑦ 自動ドア開閉装置</p> <p>⑧ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>⑨ 木製建具</p> <p>⑩ 建具用金物</p> <p>⑪ ガラス</p> <p>⑫ ガラス留め材及び溝</p> <p>⑬ ガラス用フィルム</p> <p>⑭ 重量シャッター</p> <p>⑮ 軽量シャッター</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考	・アルミニウム製建具	-	-		○既製建具	○内部	○			○外部	○		・鋼製軽量建具	○	-		・ステンレス製建具	-	-																																																																																								
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考																																																																																																														
・アルミニウム製建具	-	-																																																																																																															
○既製建具	○内部	○																																																																																																															
	○外部	○																																																																																																															
・鋼製軽量建具	○	-																																																																																																															
・ステンレス製建具	-	-																																																																																																															
外壁改修工事 共通事項	② 改修工法の適用	<p>① 2 見本の製作等</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>○既製建具</td><td>○内部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○外部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・特殊な建具の仮組 (建具符号:)</p> <p>③ 網戸</p> <p>④ 網製建具</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具</p> <p>⑥ ステンレス製建具</p> <p>⑦ 自動ドア開閉装置</p> <p>⑧ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>⑨ 木製建具</p> <p>⑩ 建具用金物</p> <p>⑪ ガラス</p> <p>⑫ ガラス留め材及び溝</p> <p>⑬ ガラス用フィルム</p> <p>⑭ 重量シャッター</p> <p>⑮ 軽量シャッター</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考	・アルミニウム製建具	-	-		○既製建具	○内部	○			○外部	○		・鋼製軽量建具	○	-		・ステンレス製建具	-	-																																																																																								
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考																																																																																																														
・アルミニウム製建具	-	-																																																																																																															
○既製建具	○内部	○																																																																																																															
	○外部	○																																																																																																															
・鋼製軽量建具	○	-																																																																																																															
・ステンレス製建具	-	-																																																																																																															
外壁改修工事 共通事項	② 改修工法の適用	<p>① 2 見本の製作等</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>○既製建具</td><td>○内部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○外部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table> <p>・特殊な建具の仮組 (建具符号:)</p> <p>③ 網戸</p> <p>④ 網製建具</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具</p> <p>⑥ ステンレス製建具</p> <p>⑦ 自動ドア開閉装置</p> <p>⑧ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>⑨ 木製建具</p> <p>⑩ 建具用金物</p> <p>⑪ ガラス</p> <p>⑫ ガラス留め材及び溝</p> <p>⑬ ガラス用フィルム</p> <p>⑭ 重量シャッター</p> <p>⑮ 軽量シャッター</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考	・アルミニウム製建具	-	-		○既製建具	○内部	○			○外部	○		・鋼製軽量建具	○	-		・ステンレス製建具	-	-																																																																																								
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考																																																																																																														
・アルミニウム製建具	-	-																																																																																																															
○既製建具	○内部	○																																																																																																															
	○外部	○																																																																																																															
・鋼製軽量建具	○	-																																																																																																															
・ステンレス製建具	-	-																																																																																																															
外壁改修工事 共通事項	② 改修工法の適用	<p>① 2 見本の製作等</p> <p>② アルミニウム製建具</p> <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミニウム製建具</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>○既製建具</td><td>○内部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○外部</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>○</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考	・アルミニウム製建具	-	-		○既製建具	○内部	○			○外部	○		・鋼製軽量建具	○	-		・ステンレス製建具	-	-																																																																																								
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備 考																																																																																																														
・アルミニウム製建具	-	-																																																																																																															
○既製建具	○内部	○																																																																																																															
	○外部	○																																																																																																															
・鋼製軽量建具	○	-																																																																																																															
・ステンレス製建具	-	-																																																																																																															



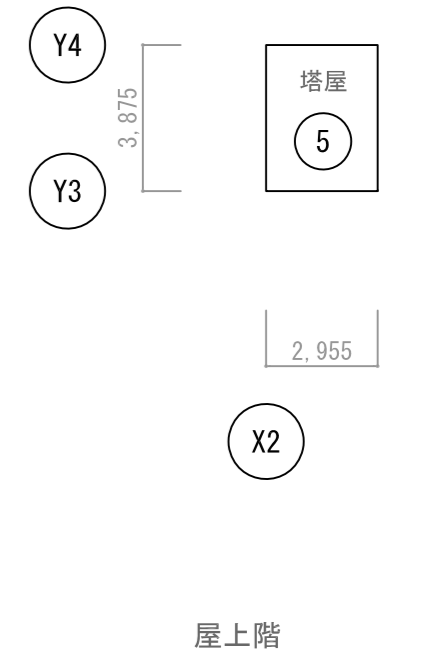
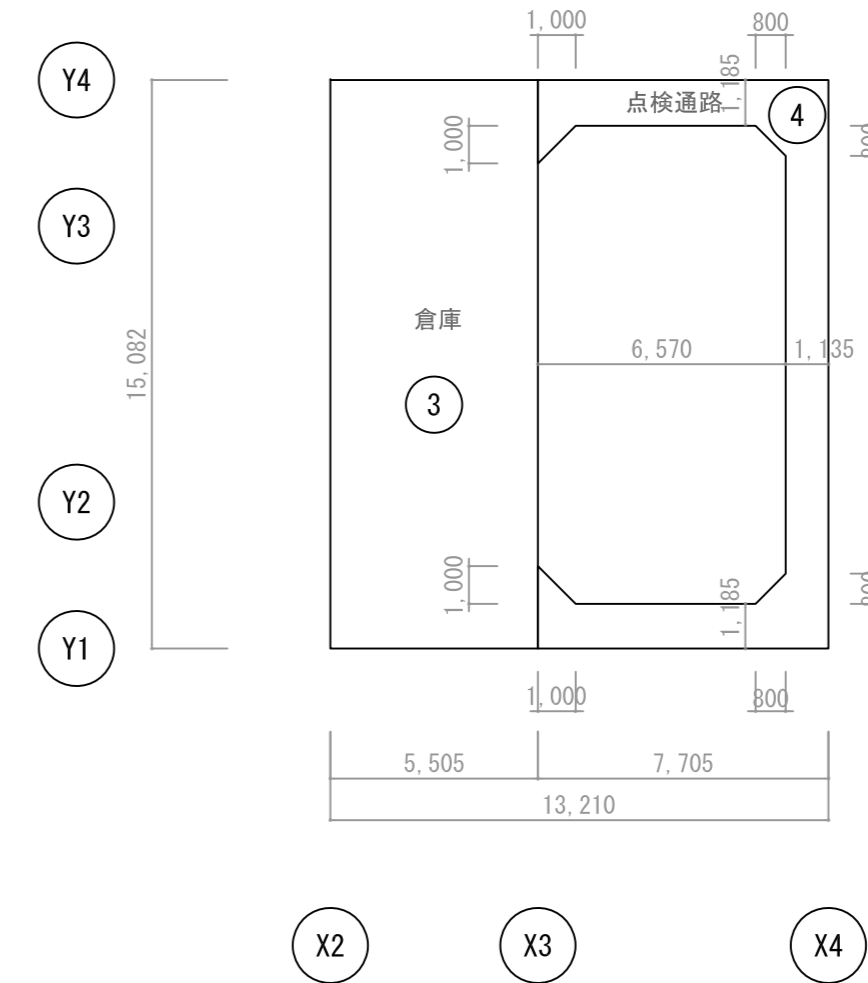
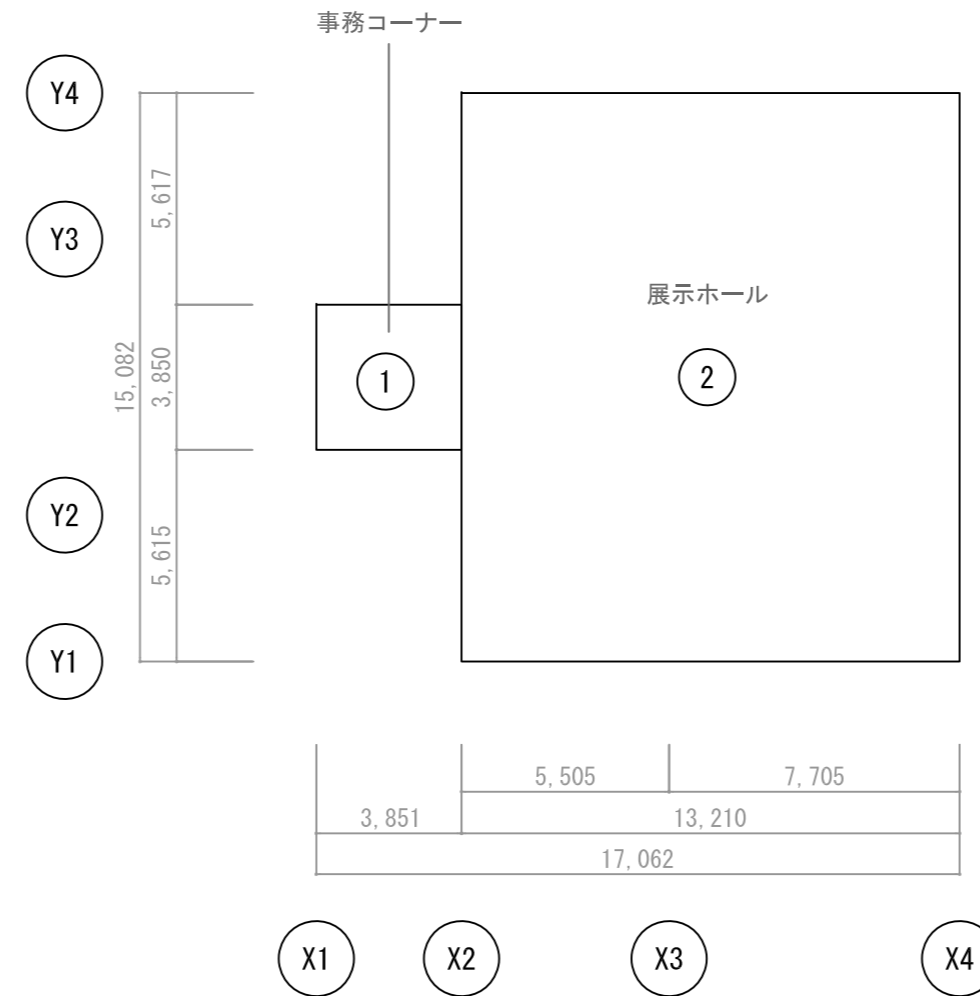
検図	製図	平成16年度	(仮称)観光交流センター整備工事				
		設計 19年3月	本館 付近見取図				
		縮尺 1/2,500	津島市建設部建築課				
全日本コンサルタント(株)	A-06	課長	B	担当	C	員	

面積表

建築面積求積図



床面積求積図



算定式

(面積 : m²)

室名	記号	計算式	面積	室名	記号	計算式	面積	建築面積	延床面積	備考
	Ⓐ	3.850 × 3.851	14.83	事務コーナー	①	3.850 × 3.851	14.83	214.49	214.07	Ⓐ ~ ㉓
	Ⓑ	15.082 × 13.210	199.24	展示ホール	②	15.082 × 13.210	199.24		83.03	① ~ ②
庇	㉔	1.320 × 0.320	0.42	倉庫	③	15.082 × 5.505	83.03			③
				点検通路	④	1,185 × 6.570 × 2			297.10	① ~ ③
						+ 15,802 × 1,135				
						+ 1/2 × 800 × 800 × 2				
						+ 1/2 × 1,000 × 1,000 × 2	35.15			
				塔屋	⑤	3.875 × 2.955	11.45			

特記事項

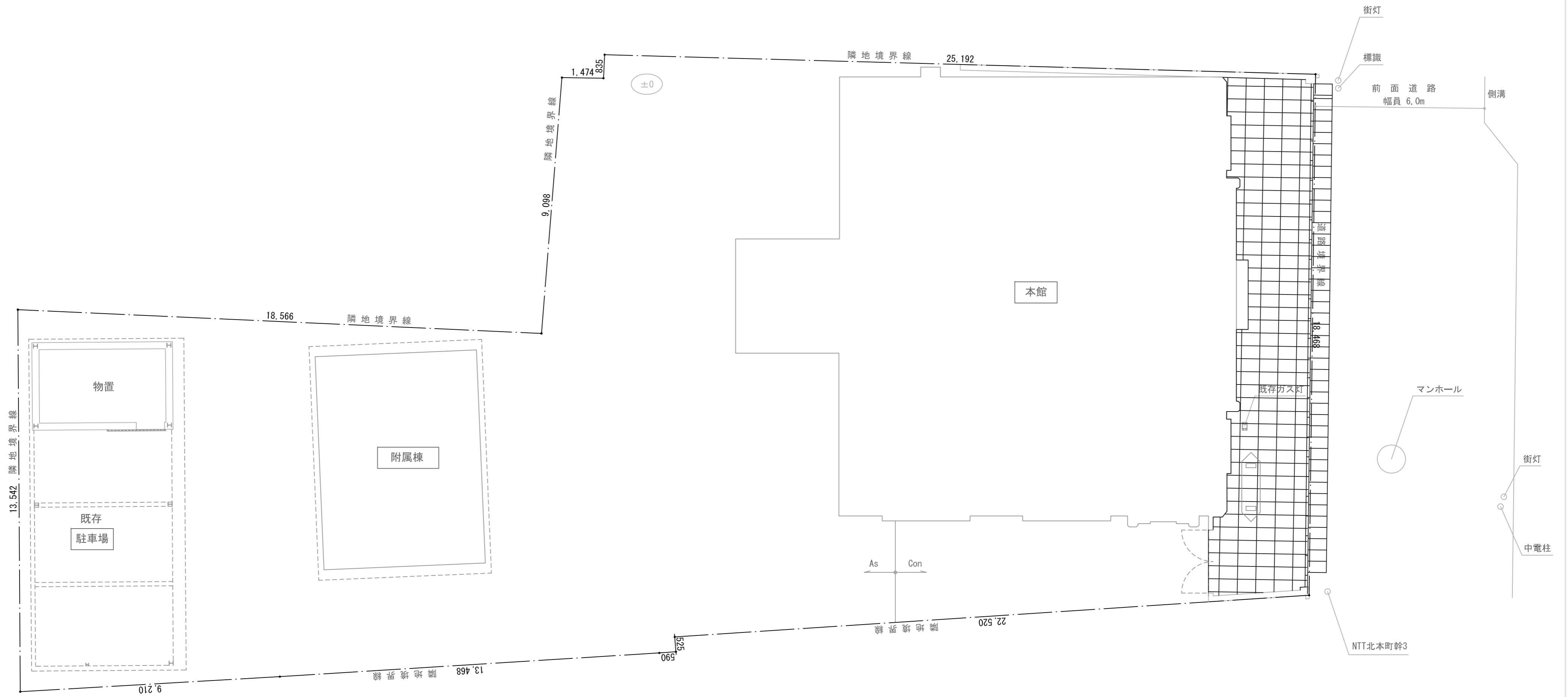
検図	製図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		設計 19年 3月	本館 面積表
		図面 1/200	
		津島市建設部建築課	
		A-07	
全日本コンサルタント(株)			

既存内部仕上げ										改修後内部仕上げ																					
階	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木(腰)	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	改修内容	備考	室名	下地	床	改修内容	下地	幅木(腰)	改修内容	下地	壁	改修内容	下地	天井	改修内容	備考			
1	玄関		磁器質タイル 50角	F		大理石 H=200	F		腰壁：大理石	F		EP	F	格子天井	風除室		磁器質タイル 50角	f		大理石 H=200	f		腰壁：大理石	f		EP	f	格子天井			
									ポーター：大理石	F																					
										壁：漆喰 + EP	C																				
1	客溜		磁器質タイル 60×110	F		大理石 H=200	F		腰壁：吹付タイル	A		岩綿吸音板 EP	C	一部設備基礎	展示ホール		磁器質タイル 60×110	f		大理石 H=200	f		腰壁：漆喰調塗装仕上	a							
									ポーター：大理石	F																					
										壁：漆喰 + EP	C																				
1	営業室		塩ビシート	C		木製 H=200	A		腰壁：ベニア EP	A		漆喰 + EP	A		展示ホール		磁器質タイル 300□	c		木製 H=200	a		腰壁：ベニア EP	a		漆喰 + EP	A				
									腰壁：ベニア EP	A																					
										壁：漆喰 + EP	C																				
1	金庫		モルタル	F		モルタル H=450	F		漆喰	F		漆喰	F	鉄骨 グレーチングの中2階有り	点検スペース		モルタル金コテ押え						LGS PB	a							
2	渡り廊下		モルタル	F		木製 H=200	A		モルタル EP	C		漆喰 + EP	A		事務コーナー		モルタル	f		モルタル H=450	f		漆喰	f		漆喰	f	鉄骨 グレーチングの中2階有り			
2	経理室		カーペット敷き	C		木製 H=200	A		モルタル EP	C		漆喰 + EP	A		点検通路		モルタル	f		木製 H=200	f		漆喰調塗装仕上	a		漆喰調塗装仕上	a				
2	理事長室		カーペット敷き	C		木製 H=200	A		モルタル EP	C		漆喰 + EP	A		倉庫		長尺シート貼り	a		木製 H=200	f		漆喰調塗装仕上	a		漆喰調塗装仕上	a				

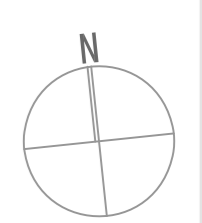
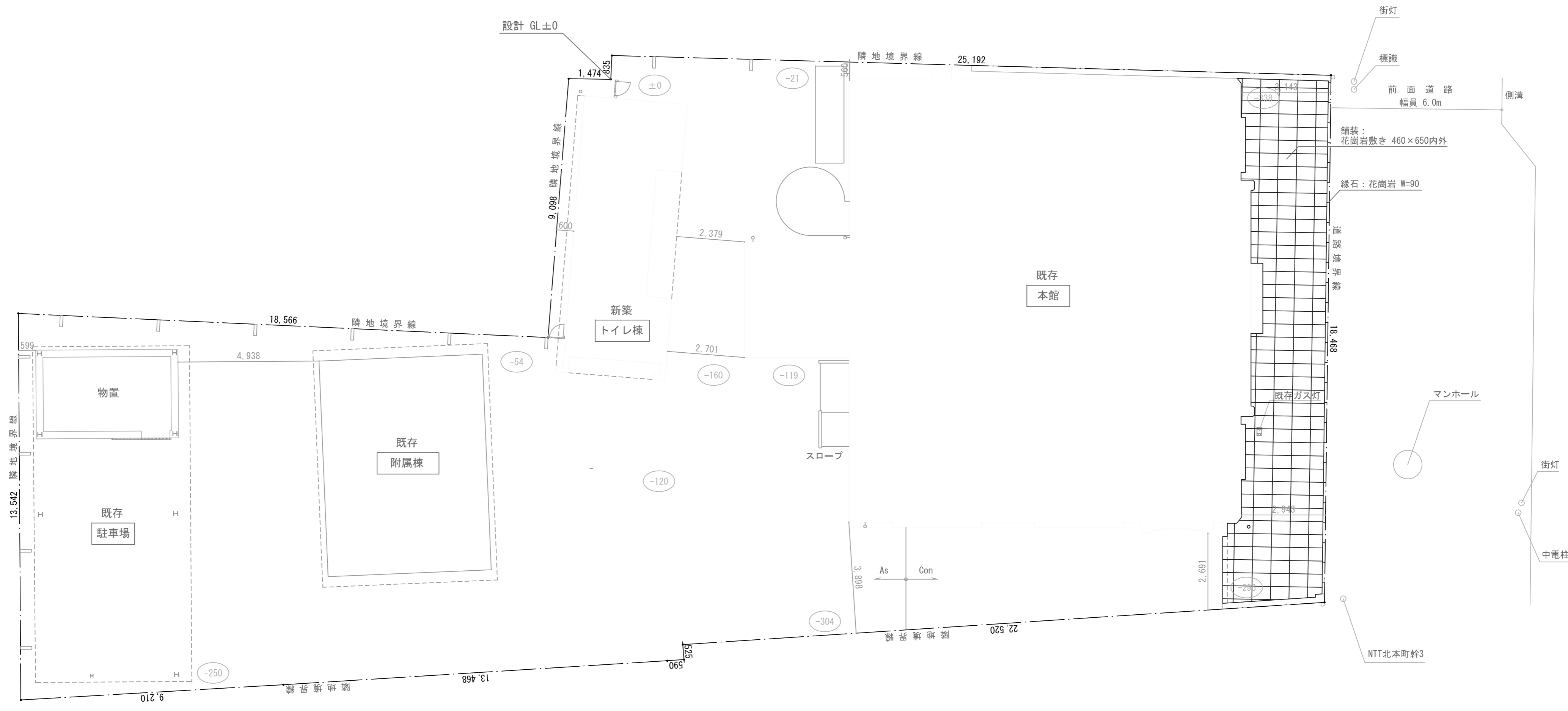
改修内容凡例
A：仕上げ撤去
B：図示の仕上げ撤去
C：下地共撤去
D：図示の下地共撤去
E：下地の調整
F：既存のまま

共通事項
a：仕上げ新設
b：図示の仕上げ新設
c：下地共新設
d：図示の下地共新設
e：塗装の塗り替え
f：既存のまま

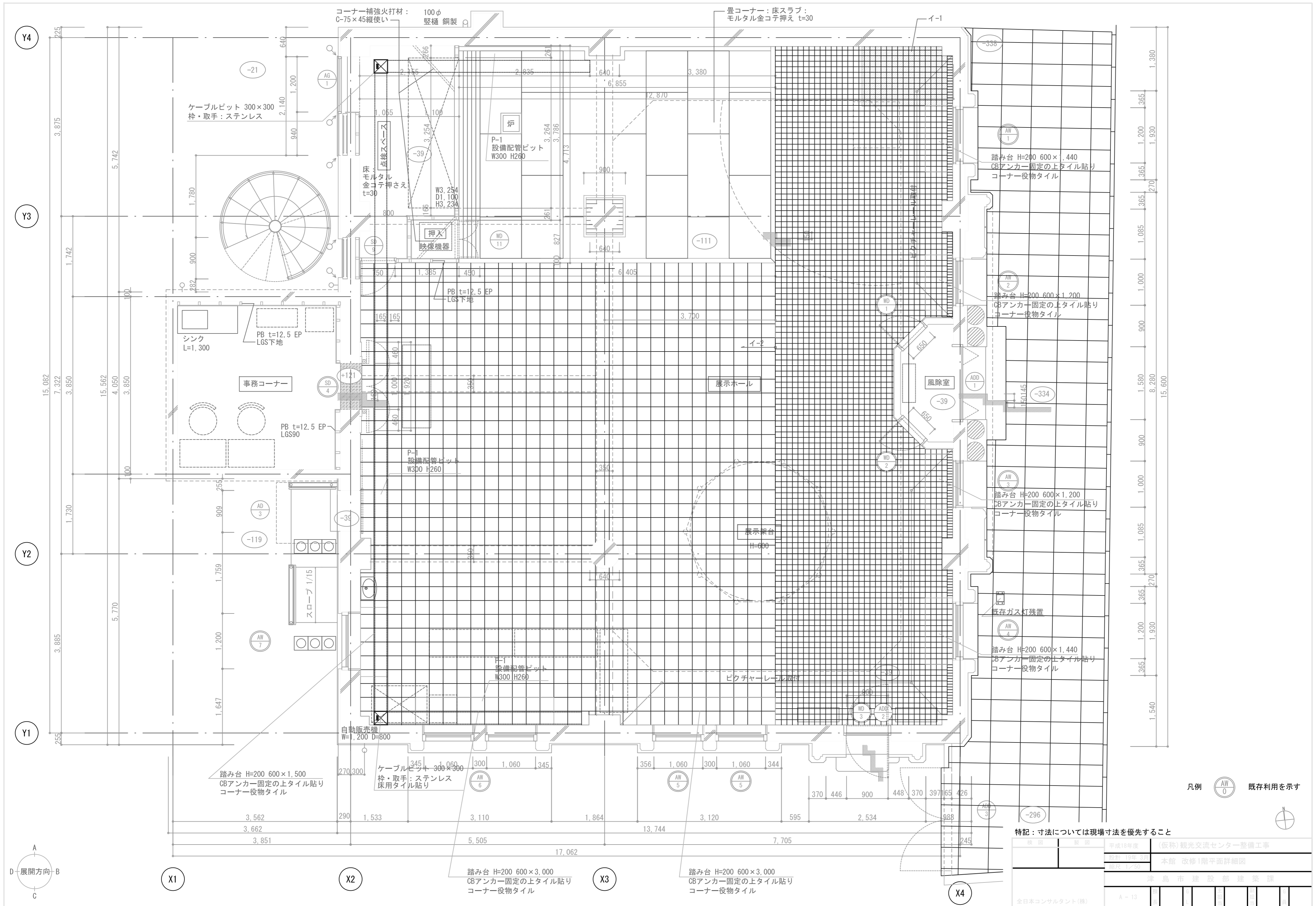
1. 間仕切りの撤去・新設等の位置は、平面図による。



検 図	製 図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		設計 19年 3月	本館 現況配置図
		前図 102/100	
津 島 市 建 設 部 建 築 課			
全日本コンサルタント(株)	A-10		



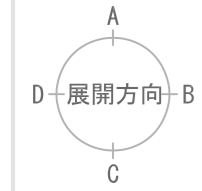
図名	製図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		2006.12.15	本館 改修配置図
		2006.12.15	津島市建設部建築課
全日本コンサルタント(株)	A-11		

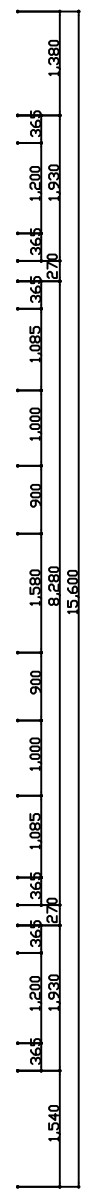
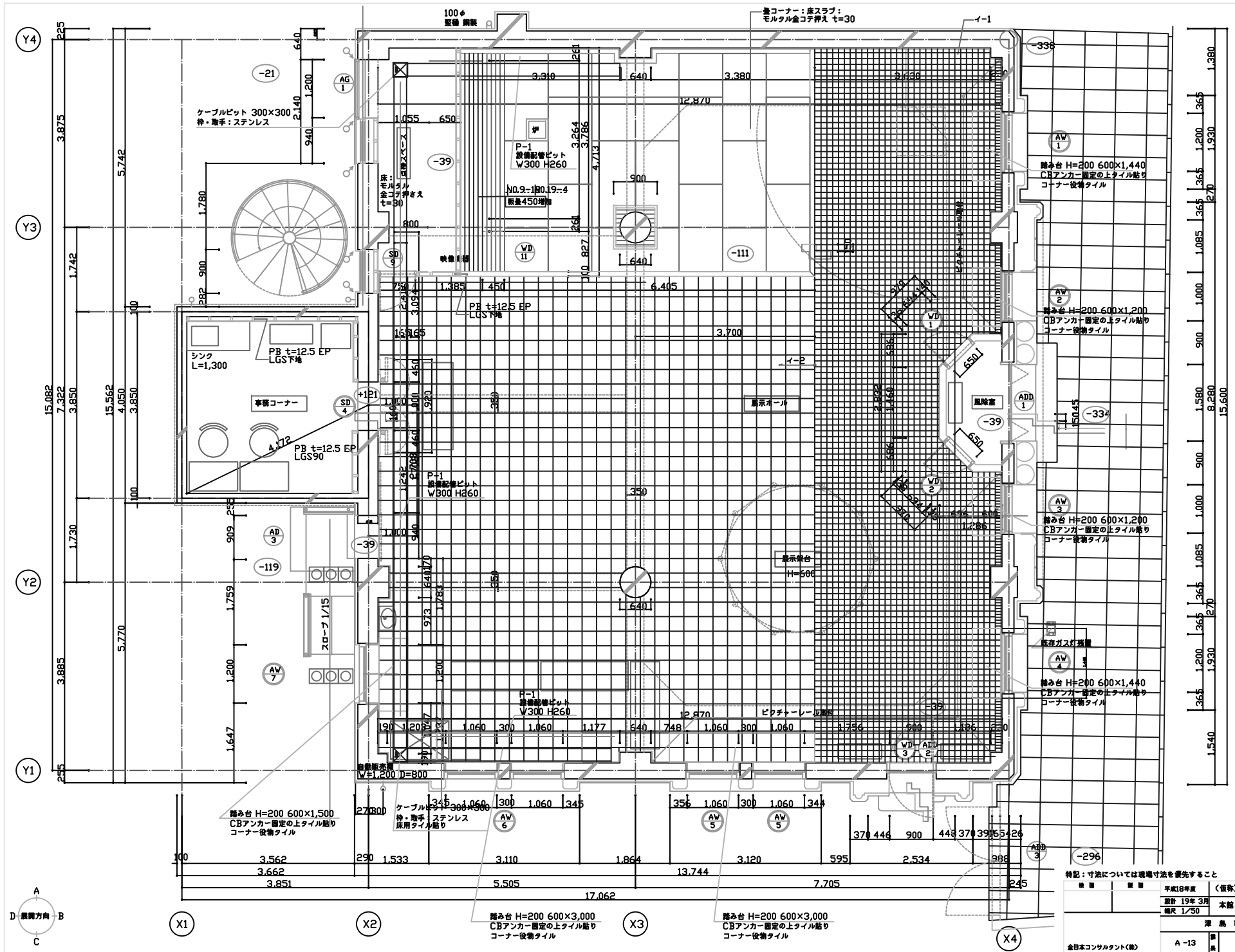


凡例 既存利用を示す

特記：寸法については現場寸法を優先すること

図名	第1階平面詳細図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
設計	2006.12.20	2006.12.20	本館 改修1階平面詳細図
設計	2006.12.20	2006.12.20	津島市建設部建築課
設計	2006.12.20	2006.12.20	全日本コンサルタント(株)



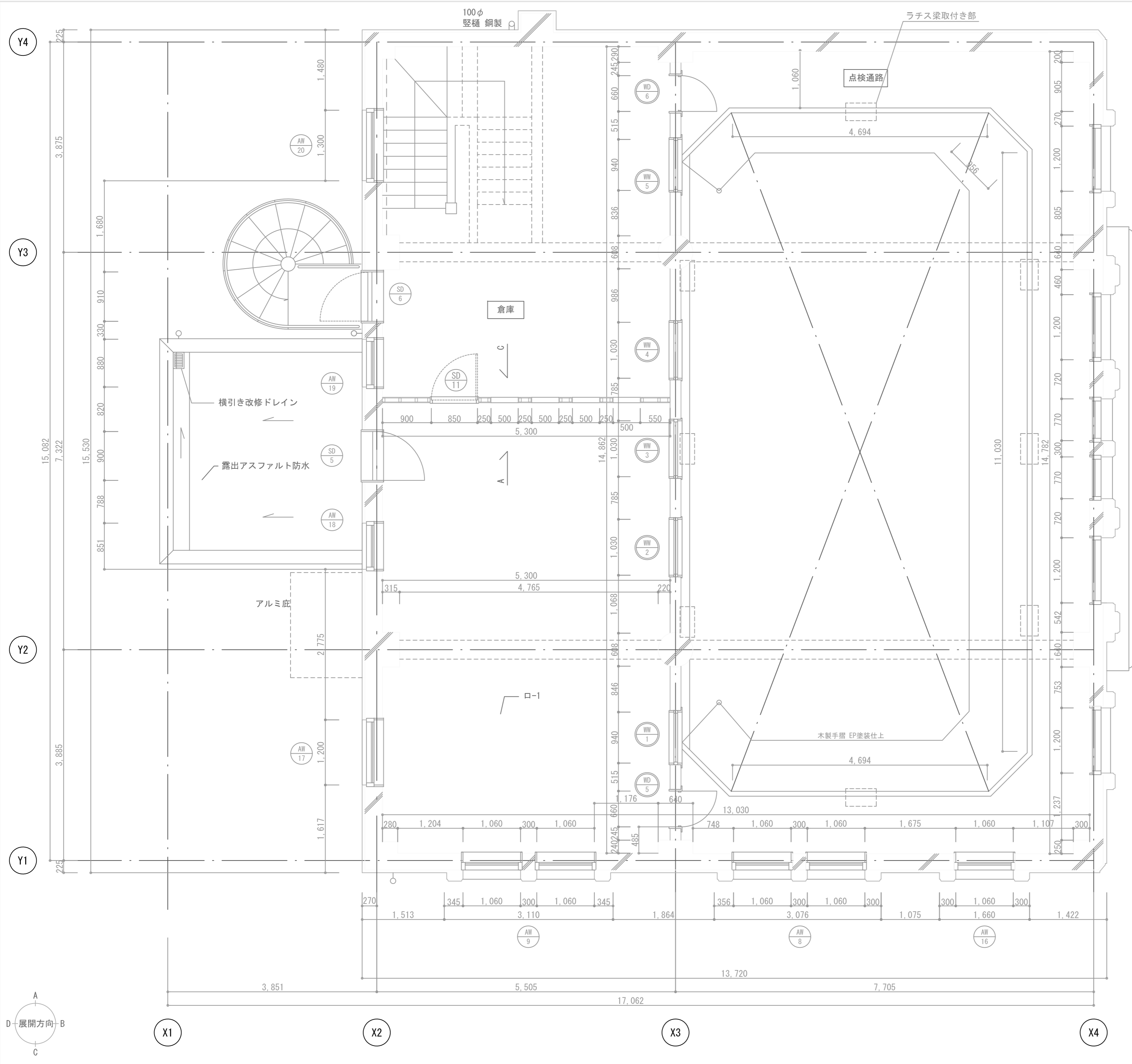


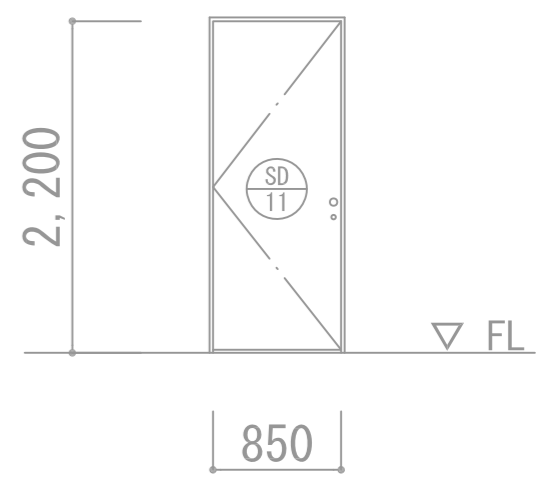
凡例 AV 0 既利用を示す

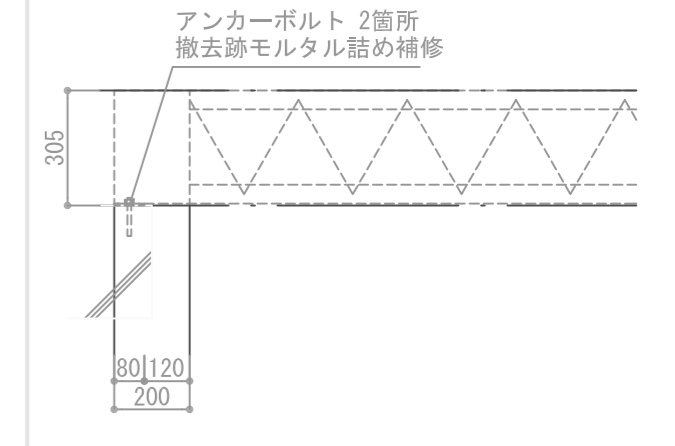
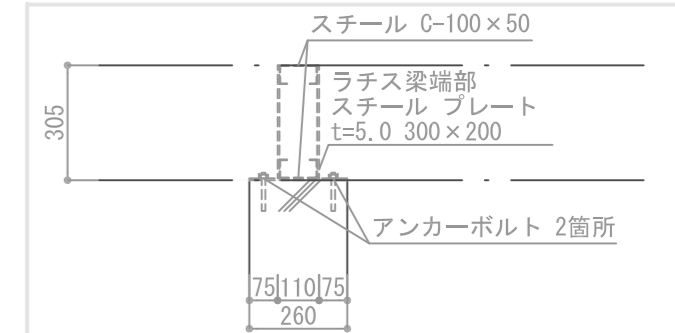
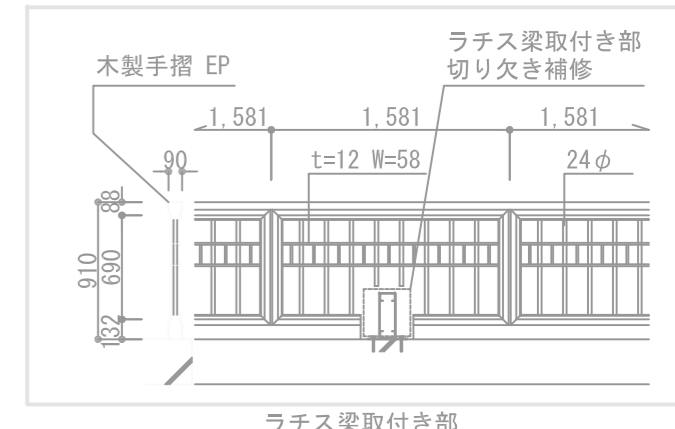
特記：寸法については現場寸法を優先すること

設計	監理	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
設計	監理	平成19年3月	本館 改修1階平面詳細図
縮尺	1/50		
千葉県建設部建築課 日本コンサルタンツ(株)			
A-13	G	1	G





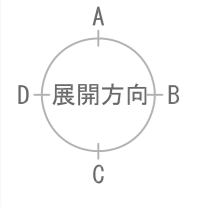
建具表		
SD 11	スチールドア	1
<p>姿図</p> 		
材質 仕上	スチール OP 三方枠	
見込	ガラス	
建具金物	本締錠 ステンレス蝶番 2カ所	
場所		
備考	ステンレス沓摺り	

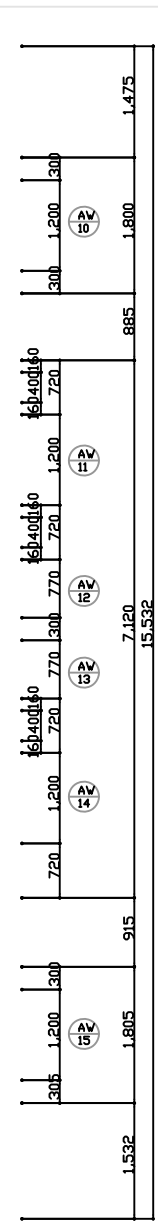
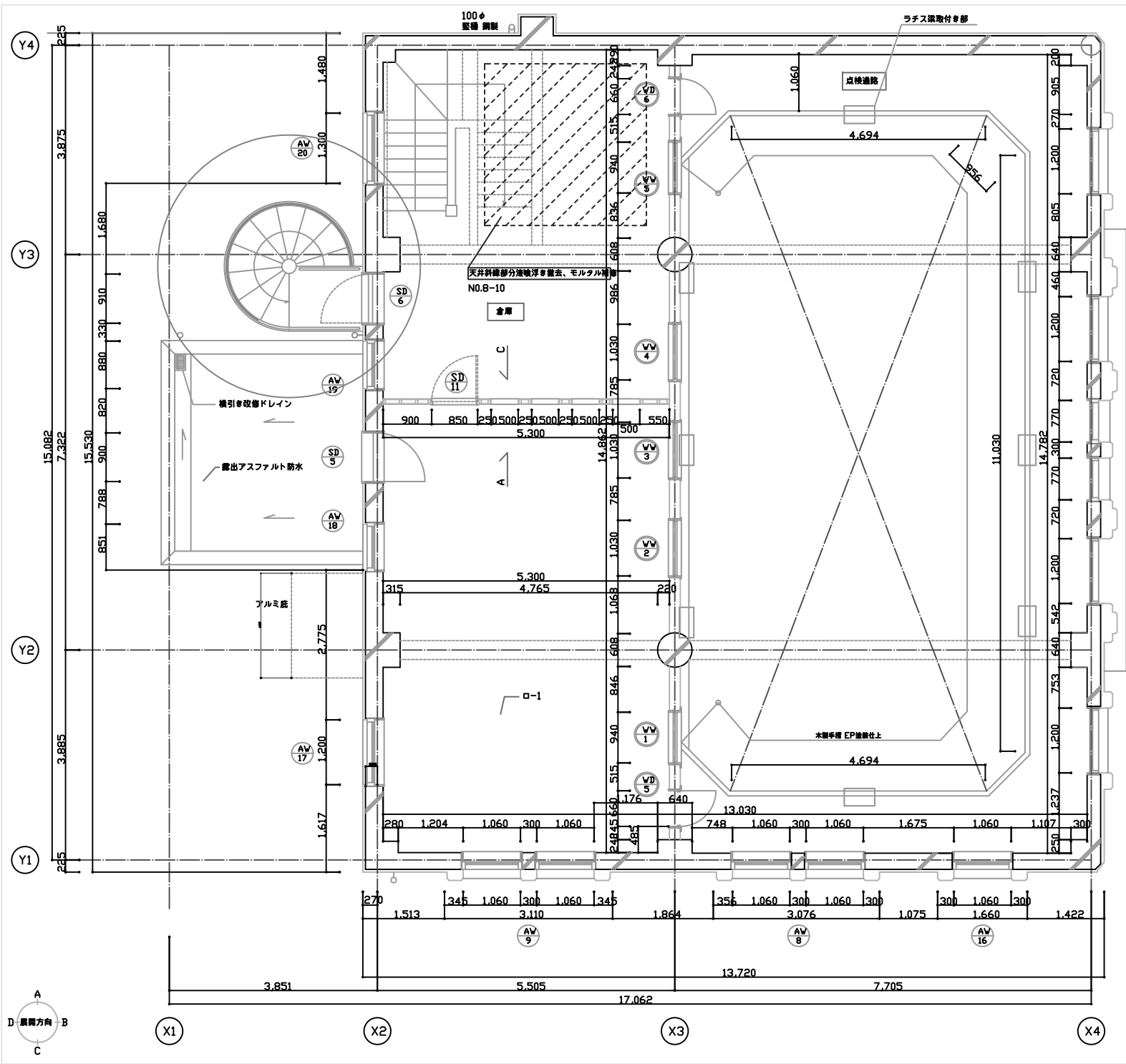


ラチス梁・天井下地 S=1/20

特記：寸法については現場寸法を優先すること

図名	製図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		設計 15年 3月	
		図取 12年 9月	本館 改修2階平面詳細図
津島市建設部建築課			
全日本コンサルタント(株)	A-15		



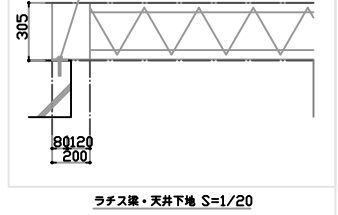
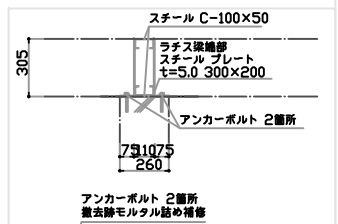
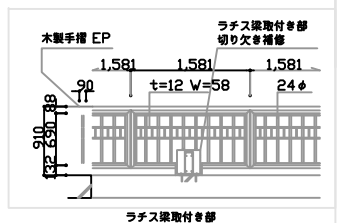


建具表

SD 11	スチールドア	1
-------	--------	---

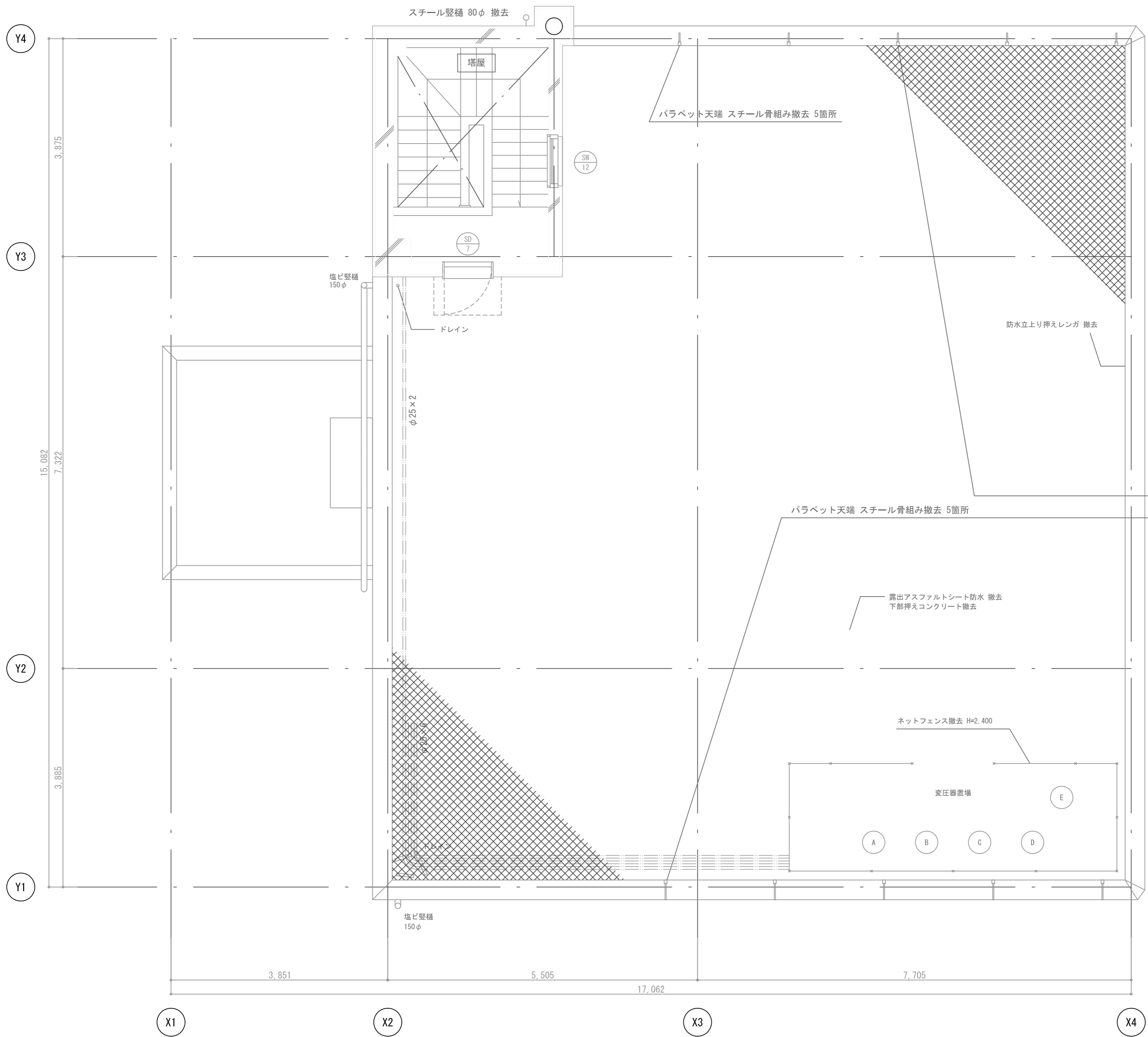
窓 図

材質 仕上	スチール □P 三方枠
見込	ガラ
建具金物	本締錠 ステンレス蝶番 2ヶ所
場所	
備考	ステンレス杏摺り

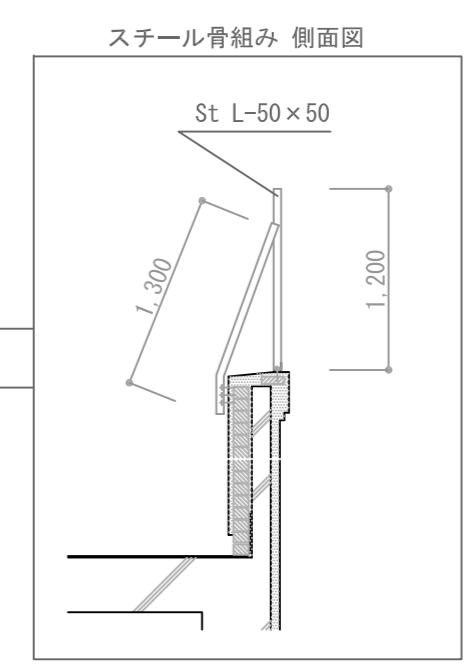


特記：寸法については現場寸法を優先すること

計画	設計	平成18年度	〈仮称〉観光交流センター整備工事
		設計 19年 3月	本館 改修2階平面詳細図
		縮尺 1/50	
津島市建設部 建築課			
A-15	図	G	注
	表	L	冊
金日本コンサルタント(株)			



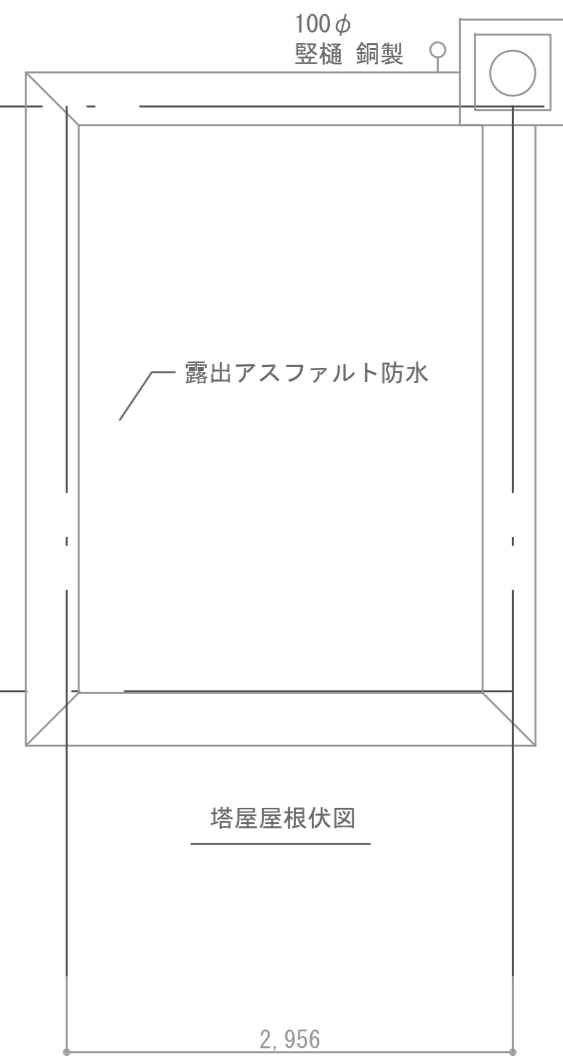
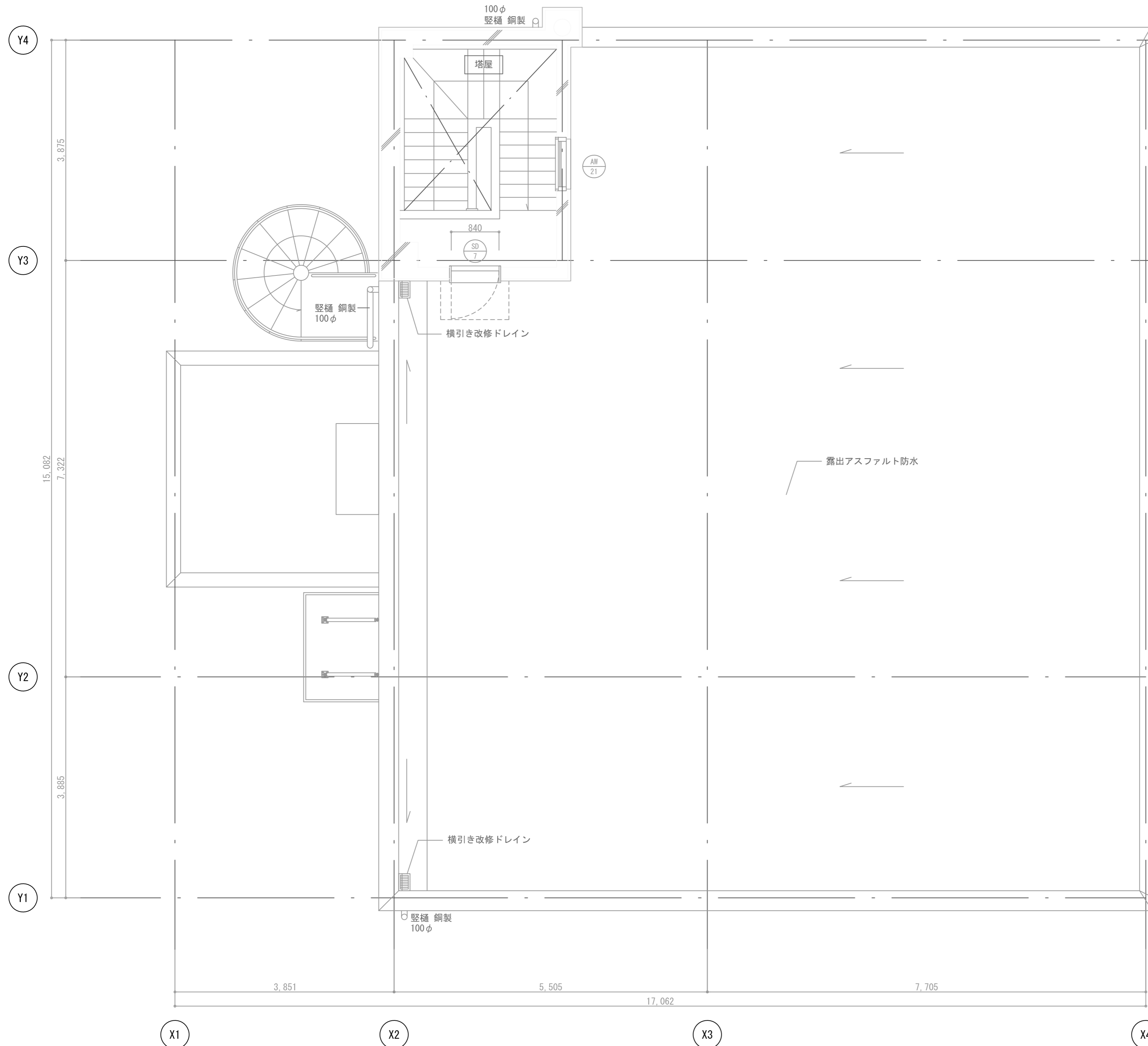
塔屋屋根伏図



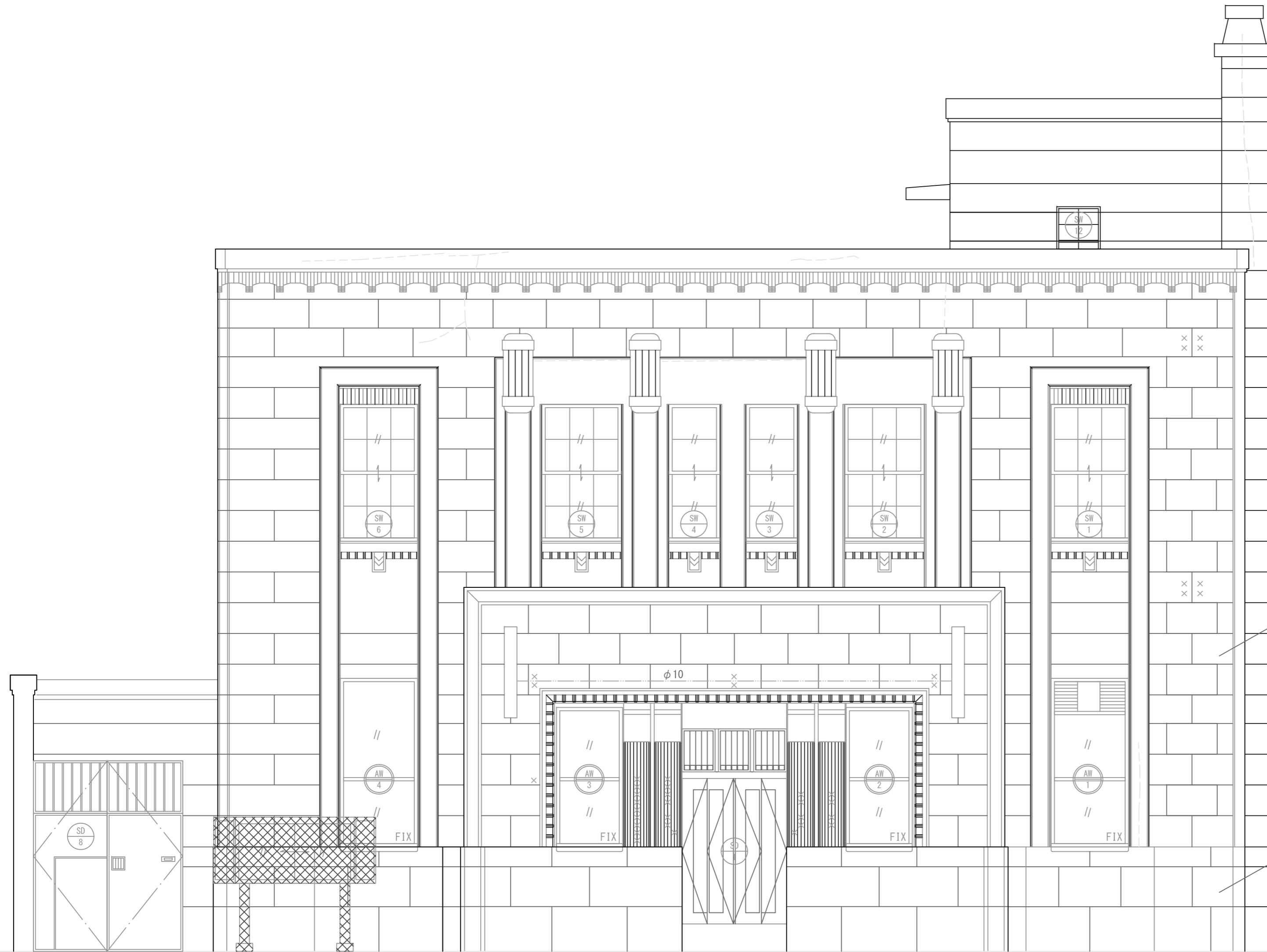
- 変圧器品番を示す
- A: PS6-K3 東京芝浦電気株式会社 定格30kVA
 - B: 25820-156 S37.8 松下電器株式会社 定格20kVA
 - C: 25910-189 S37.8 松下電器株式会社 定格30kVA
 - D: 25910-187 S37.8 松下電器株式会社 定格30kVA
 - E: 25910-198 S37.8 松下電器株式会社 定格30kVA

- 凡例
- 一般 撤去部分を示す
 - 撤去配管 スチール
 - 塩ビ
 - 建具 撤去を示す
 - 既存利用を示す

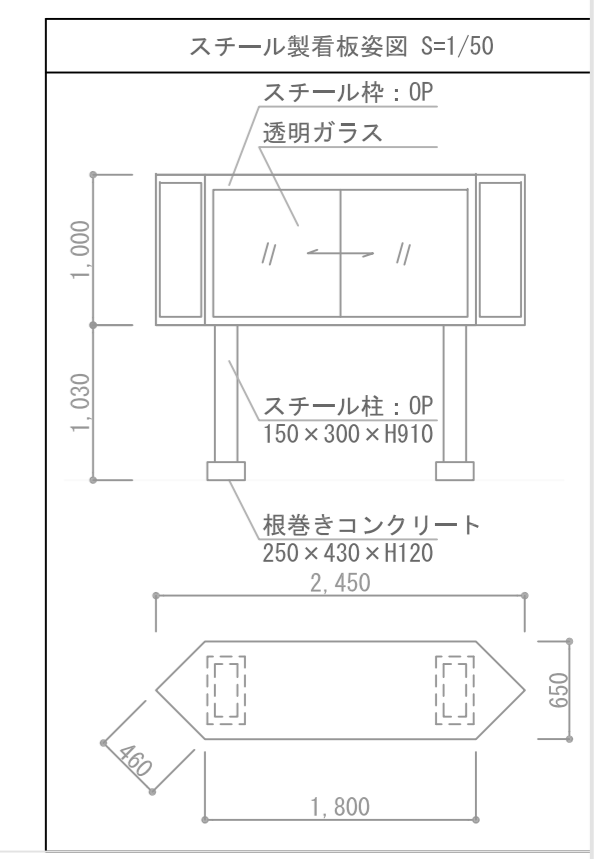
図 号	製 図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		図 号	本館 現況屋上階平面詳細図
		津島市建設部建築課	
全日本コンサルタント(株)	A-16		



検 図	製 図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		設計 14年3月	本館 改修屋上階平面詳細図
		図面 11/23	
		津島市建設部建築課	
		A-17	
全日本コンサルタント(株)			



- 凡例
- 一般 撤去部分を示す
 - アンカー跡を示す 52カ所
 - 撤去配管 スチール
 - 塩ビ
 - 建具 撤去を示す
 - 既存利用を示す



Y1 Y2 Y3 Y4

Steel viewing board removal

図名	製図	平成18年度	(仮称)観光交流センター整備工事
		設計: 19年3月	本館 視況東立面図
		編成: 17年10月	
		津島市建設部建築課	
全日本コンサルタント(株)	A-18		